

事業所における放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表:令和 8年 3月 27日

事業所名 児童発達・放課後等デイサービスStep

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	100%				
	②	職員の配置数は適切である	100%			現在、直接指導員8名在籍	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされている	100%			誰もが使いやすいように、 配慮されてる。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画してい る	100%				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	100%			毎年実施し、ホーム ページにあげている。	今後も継続していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホーム ページ等で公開している	100%				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			100%		第三者評価は、受け ていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	100%			毎月、研修を行い、資質の 向上に努めている。	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成している	100%				今後も継続していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	100%			オリジナルのアセスメント シートを作成・使用してい る。	今後も継続していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	90%	10%		成長・発達するため適宜、 更新している	今後も継続していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	100%				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計 画を作成している	100%			児童の特性を捉え計画 を立てている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の内容や役割分担につい て確認している	100%			一人ひとりを分析し、個々 のあった課題への取り組 みを行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付い た点等を共有している	100%			児童の状況を共有したり、 次の活動に活かせるよう に、している。	今後も継続していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげている	100%				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%				今後も継続していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			管理者兼自発管が参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%			学校や事業所での様子や課題への取り組みを共有している。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			100%		保護者と情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%			サマリーを活用し情報共有を行っている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	80%	10%	10%		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		70%	30%		あまり機会がない
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			LINEや電話、送迎時等で、実施している。		
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			日程調整し、事業所等で面談を行っている。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			100%		実施していない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%			毎月、活動予定表を発行している。	
	③⑮	個人情報に十分注意している	100%				
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%		不審者、個人情報等の兼ね合いで実施していない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			5月：避難訓練 9月：引き渡し訓練を実施している。	
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			虐待防止の研修を行い、周知徹底している	
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			100%		対象児がいない。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%			フェイスシートで保護者から情報を得ようとしている。	看護師により、身体観察等を実施している。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%				

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

-

